



平成 21 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 愛光電気株式会社  
代表者名 代表取締役社長 近藤 保  
(JASDAQ・コード番号9909)  
問合せ先 取締役経理部長 渡邊幹夫  
(TEL. 0465-37-2121)

### 平成 22 年 3 月期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 21 年 7 月 21 日付「平成 22 年 3 月期第 1 四半期決算短信（非連結）」において公表した、業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 22 年 3 月期 第 2 四半期累計期間業績予想の修正等（平成 21 年 3 月 21 日～平成 21 年 9 月 20 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,229	12	46	23	5 円 28 銭
今回修正予想 (B)	4,405	△62	△16	△31	△7 円 23 銭
増減額 (B - A)	△824	△74	△62	△54	—
増減率 (%)	△15.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	5,150	△36	29	26	6 円 07 銭

#### 2. 平成 22 年 3 月期 通期業績予想の修正等（平成 21 年 3 月 21 日～平成 22 年 3 月 20 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	10,500	14	83	41	9 円 56 銭
今回修正予想 (B)	9,000	△86	△5	△36	△8 円 29 銭
増減額 (B - A)	△1,500	△100	△88	△77	—
増減率 (%)	△14.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	10,530	△22	73	33	7 円 58 銭

### 3. 修正の理由

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱、株価の低迷などにより、企業収益は減少傾向にあり、景気の減速は深刻な状況となっております。電設資材卸業界におきましても引き続き厳しい経営環境が続いております。このような環境下、各社は一層の経営の効率化、合理化を求められております。

当社におきましては、港北営業所（横浜市都筑区）を新たに開設し収益強化に取り組んでまいりましたが、景気の悪化に伴い新規建築物件及び設備投資が減少しており、これらによる市場縮小・競争激化の影響を受けて全体的に売上が低迷いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間及び通期における売上高は前回予想を下回る見込みであります。

利益面につきましては、売上高の減少により売上総利益が低下し、販売費および一般管理費の圧縮を行ないましたが、売上総利益の減少を吸収するには至りませんでした。この結果、営業利益、経常利益、四半期純利益は前回予想を下回る見込みであります。

### 4. 平成22年3月期 配当予想の修正

平成21年7月21日付「平成22年3月期第1四半期決算短信（非連結）」において公表しておりました平成22年3月期の期末配当予想につきましては、平成22年3月期通期の業績が期初計画を下回る見込であることから、期末の配当金につきましては、1株当たり5円から1株当たり3円に修正させていただきます。

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成21年7月21日)	—	0円	—	5円	5円
今回修正予想	—	0円	—	3円	3円
(ご参考) 前期 (平成21年3月期) 実績	—	0円	—	7円	7円

※本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上